



特定非営利活動法人 防災デザイン研究会



## About Us

### 活動目的

安全で安心して暮らせるまちづくりは、21 世紀の大きなテーマです。中でも地震や大雨などが引き起こす自然災害は、まちに甚大な人的経済的な被害をもたらします。1995 年の阪神・淡路大震災を契機として、わが国の防災は「自然と共存し被害を軽減する社会を目指す」方向へとシフトしました。

こうした観点を踏まえ 1996 年、「誰にでも分かる防災情報コミュニケーションを目指し、防災に使用できる絵文字（ピクトグラム）を開発し標準化する」という趣旨の元、防災研究者とデザイナーとの協業で「防災ピクトグラム研究会」を立ち上げました。これまでの活動は、防災ピクトグラムの収集と開発をはじめ、避難誘導標識システムの研究開発、啓発コンテンツの研究開発、防災研究に関するウェブサイトの開設、防災マップの研究開発など、数々の防災とデザインに関するプロジェクトに参画し、行政機関、研究機関、教育機関、民間企業などへ提案を行ってきました。中には既に、行政機関や民間企業などに採用されたものもあります。

このような活動のなかで、これまでの研究会成果の社会的な位置付けに対し提案者としての責任を全うするためには、任意ではなく法人格を 備えた団体であることが望ましいと考え、また防災研究とデザイン活動を通し、将来にわたり安全で安心して暮らせるまちづくりに寄与するため、2007 年、特定非営利活動法人 防災デザイン研究会を設立しました。



### 事業内容

1. 防災ピクトグラムの調査研究開発事業
2. 防災ピクトグラムの標準化（規格化）活動事業
3. 防災サインシステム調査研究開発事業
4. 防災教育コンテンツ調査研究開発事業
5. 防災情報コンテンツ調査研究開発事業
6. 災害に強い人づくりにおける調査・研究・普及・計画・設計・制作・監理・出版・講演・イベントに係る事業

7. 防災まちづくりにおける調査・研究・普及・計画・設計・制作・監理・出版・講演・イベントに係る事業
8. その他、目的を達成するために必要な事業

## Members

---

理事長	林 春男	京都大学防災研究所
副理事長	吉田 治英	(株) GK 京都
	牧 紀男	京都大学防災研究所
	井上 聡	(株) GK 京都
	ト部 兼慎	(株) GK 京都
	出来 信久	積水樹脂 (株)
	西野 隆博	(有) アールツー・メディアソリューション
	笠木 淳	(有) アールツー・メディアソリューション
	東田 光裕	日本電信電話 (株)
	林 勲男	国立民族学博物館
	下境 敏広	(株) パスコ
	田中 聡	富士常葉大学
	山本 晋吾	兵庫県農政環境部
	豊田 匡臣	オルウィン (株)
	谷 優子	オルウィン (株)

## Supporters

- 高知県、徳島県、三重県、和歌山県  
(津波防災ピクトグラム)
- 国土交通省河川局
- 財団法人河川情報センター  
(まるごとまちごとハザードマップ)
- ISO2223, 日本規格協会  
(パブリックウォーニング Color-Coded Alert の提案)
- 東京都、新潟県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、徳島県、福岡県  
(次の巨大地震に備える高層ビル室内安全ブック)
- 奈良県橿原市  
(橿原市総合防災計画、ハザードマップ)
- 京都市  
(ハザードマップ)
- 他

## Contact Us

---

所在地

〒602-0898 京都市上京区相国寺東門前町 657  
TEL / FAX. (075) 221-2728

E-mail k.urabe@gk-kyoto.com (担当：卜部)

URL

http://add.or.jp/

## Projects

1998.10

防災 PICTOGRAM SYSTEM 開発  
(地域安全学会)



1999

Pictogram System  
for Natural Disaster Reduction



2000.1

避難ピクトグラム」に関する建白書



外力	災害警報・注意	避難の対象	注意標識	指示すべき場・施設	備考	経路
火	×	1. 火災発生時の避難	×	×	×	×
地震	×	2. 地震発生時の避難	×	×	×	→
津波	×	3. 津波発生時の避難	×	×	×	→
洪水	×	4. 洪水発生時の避難	×	×	×	→
暴風	×	5. 暴風発生時の避難	×	×	×	×
噴火	×	6. 噴火発生時の避難	×	×	×	×
放射線	×	7. 放射線発生時の避難	×	×	×	×

2004

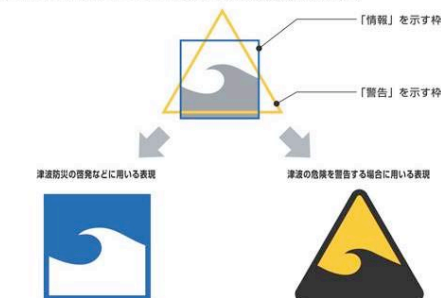
津波防災ピクトグラム (2004-2005)

### 1. 津波ピクトグラム

#### ■形状と色彩

津波ピクトグラム	色彩	意味	対比色	形状	意味
	青	義務的行動 指示	白	円	禁止 義務行動
	黄	注意、危険	黒	三角	警告 (JIS: 注意の意)
	緑	安全 避難	白	四角	情報 (指示を含む)

#### ■サインのためのピクトグラム (津波ピクトグラムの色、周囲の形状の組み合わせ)



#### ■波の向きを変える (設置環境に応じた対応)

このピクトグラムは、標識の設置位置と津波がやってくる方向に合わせて、波の向きを変えて使用することができます。



防災ピクトグラム研究会 <http://picto.dpikyo-u.ac.jp/>  
Copyright ©2004. PCD-K2N All Rights Reserved.

### 3. 津波防災ピクトグラムシステムー標識への展開

#### ■津波防災ピクトグラムシステムー標識に使用する基本要素

避難場所 (目標すべき場・ゴール)	誘導	学習・啓発	注意・警告	津波危険マーク (ハザード)
避難場所 (ピクトグラム表示)	方向を示す (矢印・矢印)	津波避難 (ピクトグラム表示)	津波警告・注意 (ピクトグラム表示)	津波の危険 (4級危険)

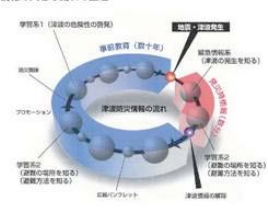
●避難場所のピクトグラムを決める場合には、いくつかの項目をチェックする必要があります。以下はその例です。  
 ・これまでその地域で採用された避難先を表現するマークはあるか。もしあれば、そのデザインなどどのようなものか。  
 ・これまで収容避難所と広域避難所の違いを表現してきたか。また、今後住民に対する説明を、どのようにするか。  
 ・これまで指定されてきた全ての避難場所 (施設) に、津波災害の危険はないか。  
 ・もし津波災害の危険がある避難場所 (施設) があるのなら、事前に取れる対策はあるか。  
 また、発生時予想される、災害の速いによる避難先の違いに引き起こす住民の混乱に、どのような避難誘導方法で対応するのか。  
 これらのチェックで導き出された答えによって、採用すべきピクトグラムが異なります。

#### ■避難・誘導標識への展開

##### サイン標識への展開による「津波防災教育・啓発手法」ー津波情報の大きな流れの整理ー

津波の発生を起点に時計回りに情報の流れを表現しています。青い部分、津波の発生までの長い時間。津波の発生をそのゴールとして捉えています。津波の危険性のある地域では、津波が地盤から数分間の間に発生した地域の中で、迅速な避難が被害軽減のための鍵となります。イザというときに「逃げる」ための情報収集しながら避難は非常に困難です。そのためには「日常的な情報発信と学習」です。これは、津波の発生後数分間にわたって伝わる、非常に長い時間での情報伝達を指しています。

情報の中身の1つは「地域の津波の危険性」「被害の歴史」「津波の起こるしくみ」などの学習系情報。もう1つは「津波からの避難場所」「安全な高さ」「方向 (経路)」や「方法」といった「避難のための」学習系情報。2つです。この2つをいかにして発信するかが大きなポイントです。赤い1つは地震が起きたときと津波発生を「感じ・あるいは知り」「逃げる」ための緊急情報です。このとき「避難のための情報」が再び存在を示し避難をサポートするものと考えられます。



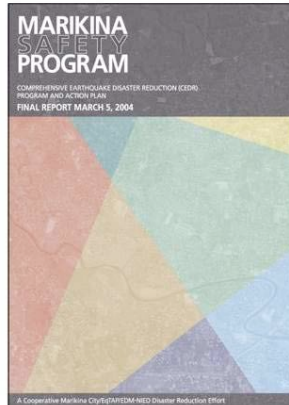
このような情報を地域環境の中で「サイン標識化」し、うまく伝達していくことで被害の軽減につながっていくべきと考えられます。



## Projects

2004

Philippines MARIKINA CITY  
SAFETY PROGRAM – FINAL REPORT



2005. 9

津波防災サイン デザインスキーム Ver. 1  
(大阪府港湾局 泉大津津波啓発（注意）看板)

板面デザイン提案

A 大看板（平成17年度提案）



A0サイズ  
平成17年度設置予定

B 小看板（16年度完）



A2サイズ  
既に数枚設置



2005

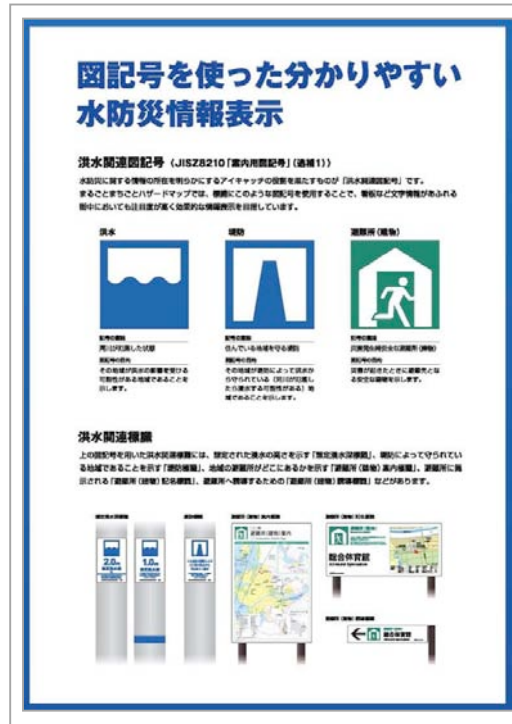
啓発のための取り組み - 和歌山県串本町



## Projects

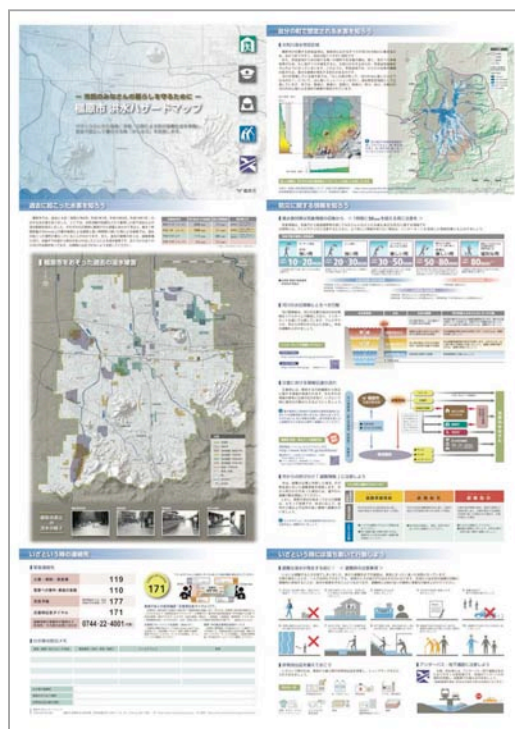
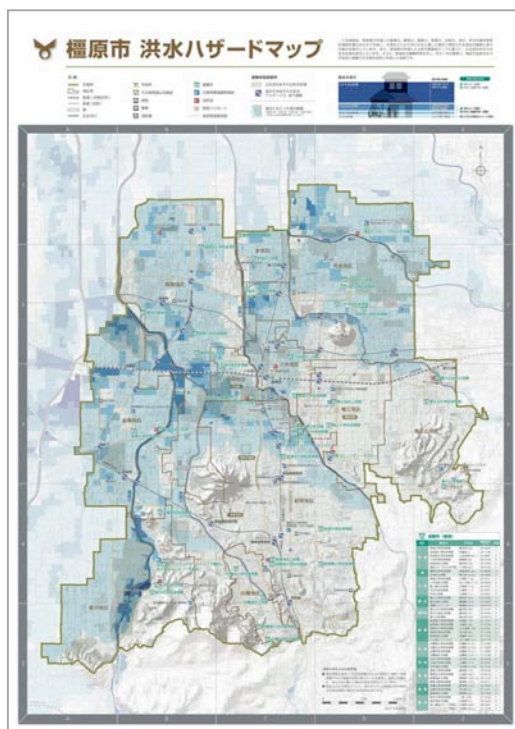
2006

まるごとまちごとハザードマップ



2008. 3

奈良県橿原市 洪水ハザードマップ







## Projects

2011.4

次の巨大地震に備える高層ビル室内安全ブック



2011.8

津波ピクトグラムシステム

津波防災ピクトグラムシステム—標識に使用する絵文字 基本要素

避難場所 (目指すべき場・ゴール)	誘導	学習/啓発	注意・警告	津波啓発ピクト
津波避難場所の明記なし (海抜10mの場、鉄筋3階建て以上の建物) 津波避難場所 (ISO・JIS)	方向を示す (ISO・JIS)	津波避難 (ピクト研提案)	津波警告・注意 (ピクト研提案)	津波の啓発 (ピクト研提案)
津波避難ビル (ISO・JIS)				
避難所 建物 (JIS)				
避難場所 (広域) (JIS)				

津波に関する統一標識 (総務省消防庁) ISO 20712-1 / JIS Z8210 (案内用図記号)

津波避難場所 津波避難ビル 津波警告・注意



## Projects

2011. 8

### 津波避難ビル標識についての考え方

津波避難ビル標識についての考え方 110826\_picto 研メモ

110831  
ADD Alliance for Disaster reduction Designs

原案をうけて  
(案)



記名サインのみならず、市民に向けた Notification を意識し、機能するものとしたほうがよい。

- ビルの名称は必要ない→災害時の情報のやりとりのためビル番号を付与する
- 記名サインのみならず、市民に向けた Notification を意識し、機能するものとしたほうがよい。
- 標識を付ける場所、何を付えるのかが大変重要である。

→ビル上部/地上入り口付近/まちなか  
→具体的行動に結びつくようなメッセージを持つ Notification サインを設置する。  
→ Notification サインは地域の「結節点」を考慮し、「面的」に配置する。

**Notification : 日常学習** いざという時の迅速な行動のため、事前に地域の危険・想定される被害・避難などを住民に知らせる日常的な学習。津波避難の基本的な理解のための情報提供

ビル自体には上部に目標物として、「図記号のみ」を設置する。地上に近いものは「文字情報」を入れる。  
地域には、面的に行動に結びつくようなメッセージを持つ notification サインを設置する。このセットで展開するのがよい。

- ビル上部  
図記号のみ
- ビル（地上付近）  
図記号/津波避難ビル（日英/中韓）/避難ビル番号
- 地域（結節点）  
図記号/津波避難ビル（日英/中韓）/避難ビル番号/分布図など



図記号の方向を考慮する

番号をつける。これは救助の際のコミュニケーションとして  
ビルの名称よりも●●市内の津波避難ビルがよい  
大阪市 O-001、岸和田市 K-001 など

面的に配置する/分布図などをセットで掲載する  
具体的な行動に結びつくようなメッセージを持つ notification を意識したもの  
にけるきかけとして、「強いゆれを感じたら」「ゆれ1分」など

2011. 12


### 津波避難ビル サイン標識

津波避難ビル サイン標識 図案  
THB-04BL/BR

111221  
ADD Alliance for Disaster reduction Designs

ピクトグラム: □250mm  
文字(漢字): □40mm 書体: 角ゴシック (角ゴシック体)  
文字(英語): □20mm 書体: Helvetica Bold (角ゴシック体)  
文字(韓国語): □16mm 書体: 角ゴシック体  
文字(番号): □25mm 書体: Helvetica Bold (角ゴシック体)


THB-04BL



つなみ ひなん  
津波避難ビル  
Tsunami Evacuation Bldg.  
海啸避难楼/해일 대피 빌딩  
K-001

H420 × W297

THB-04BR



つなみ ひなん  
津波避難ビル  
Tsunami Evacuation Bldg.  
海啸避难楼/해일 대피 빌딩  
K-001

H420 × W297

図記号の方向を考慮  
津波発生方向

※ピクトグラム(図記号)の向きは、避難時の移動方向とあわせ、避難者に理解しやすい表示とします。  
※津波避難ビルには、市町村単位で各ビルごとに通し番号をうち、サイン標識の下部に番号を表示します。  
※本デザインについての著作権は、特定非営利活動法人防災デザイン研究会に帰属します。

